

令和7年度 前期学校評価集計結果(教職員)

(1) 【学校運営】について

評価項目		A よくできている	B だいたいできている	『A+B』	C あまりできていない	D できていない	R6年度末 A+B	『A+B』の R6年度末比改善率
1	児童生徒は、楽しく意欲的に学んでいる。	51.6	48.4	100%	0	0	100%	0ポイント
2	児童生徒の基本的学力、生活力、豊かな心は向上している	45.2	54.8	100%	0	0	97%	3ポイント
3	教職員と児童生徒との取り組みは、合言葉「明るく・強く・がんばる子」を反映している。	53.3	43.3	96.6%	3.4	0	97%	-0.4ポイント
4	保護者は学校の教育目標、学級の目標及び個人の目標を理解している。	36.7	63.3	100%	0	0	100%	0ポイント
5	年間指導計画等を適切に作成することにより、授業時数を確保し計画的に指導を行っている。	51.7	44.8	96.5%	3.5	0	100%	-3.5ポイント
6	指導方法の工夫・改善を図り、楽しくわかりやすい授業を行っている。	43.3	53.3	96.6%	3.4	0	97%	-0.3ポイント
7	児童生徒の実態把握・指導に関して、教職員は共通理解を図っている。	48.3	48.3	96.6%	3.4	0	94%	2.8ポイント
8	個別の教育支援計画・個別の指導計画は、児童生徒及び保護者の願い及び教育的ニーズを反映している。	43.3	56.7	100%	0	0	100%	0ポイント
9	保護者・病院職員に対して丁寧（親切）に対応している。	60	40	100%	0	0	100%	0ポイント
10	学級だより、学校だより及び通知表等は児童生徒の様子や学校の情報を適切に伝えている。	50	50	100%	0	0	100%	0ポイント
11	保護者面談及び病棟懇談会から得た児童生徒に関する情報を有効に活用している。	44.9	51.7	96.6%	3.4	0	100%	-3.4ポイント
12	児童生徒に望ましい生活習慣が身につくように指導している。	46.7	53.3	100%	2.8	0	100%	0ポイント
13	児童・生徒の実態や特性に応じた生徒指導を行っている。	48.3	51.7	100%	0	0	100%	0ポイント
14	いじめの実態把握のためのアンケートや個別相談等の対応を適宜行っている。	62.1	37.9	100%	0	0	100%	0ポイント
15	児童・生徒間のコミュニケーション・交流は十分にとれている。	41.4	51.7	93.1%	6.9	0	97%	-3.8ポイント
16	児童生徒への進路に関する情報提供は適切である。	34.5	65.5	100%	0	0	94%	6.2ポイント
17	体験学習(進路体験等)は児童生徒の卒業後を見据えたものになっている。	37.9	62.1	100%	0	0	100%	0ポイント
18	児童生徒及び教職員の個人情報を適切に管理している。	55.2	44.8	100%	0	0	100%	0ポイント
19	円滑な学校運営のための連絡・調整は適切である。	40.7	48.2	88.9%	7.4	3.7	90%	-1.1ポイント
20	会議内容は充実しており、年間を通して会議を精選している。	35.7	53.6	89.3%	10.7	0	88%	1.3ポイント
21	日頃から、サービスにあたっては信頼されるよう努めている。	41.4	58.6	100%	0	0	100%	0ポイント
22	施設設備の整備を適切に行い、安全を確保している。	46.4	53.6	100%	0	0	100%	0ポイント
23	教室環境は安全で清潔である。	48.3	51.7	100%	0	0	100%	0ポイント
24	児童生徒の心身の健康保持増進のため、健康管理(健康診断・感染症の予防等)や救急体制の整備を行っている。	58.6	41.4	100%	0	0	100%	0ポイント
25	災害時や緊急時の迅速な対応のため、マニュアルの整備、防災・不審者対応訓練等を適切に行っている。	51.7	48.3	100%	0	0	100%	0ポイント
26	医療的ケアに関して看護師との連携は十分にとれている。	41.4	55.2	96.6%	3.4	0	94%	2.8ポイント
27	安心・安全な給食を提供し、実態に応じた給食指導をしている。	50	46.4	96.4%	3.6	0	100%	-3.6ポイント
28	児童の送迎バスへの乗降については十分な安全配慮をしている。	57.1	42.9	100%	0	0	100%	0ポイント

(2) 【学校教育目標の本年度の努力事項】について

	評価項目	A よくできている	B だいたいできている	『A+B』	C あまりできていない	D できていない	R6年度末 A+B	『A+B』の R6年度末比改善率
29	児童生徒の能力と可能性を伸ばす教育の実践と研究について。	44.8	51.7	96.5%	3.5	0	97%	-0.5ポイント
30	研修による知識と教育技術の向上について。	32.1	64.3	96.4%	3.6	0	97%	-0.5ポイント
31	自立活動の概念理解と指導力の向上について。	37.9	58.6	96.5%	3.5	0	97%	-0.5ポイント
32	障害者理解による児童生徒に寄り添う適切な教育について。	48.3	41.4	89.7%	10.3	0	97%	-7.2ポイント
33	外部専門家と連携した支援技術の向上について。	53.6	42.9	96.5%	3.5	0	100%	-3.5ポイント
34	カリキュラムマネジメントによる授業の評価と改善について。	32.1	67.9	100%	0	0	100%	0ポイント
35	自立活動の実態把握から指導内容にいたるまでの評価について。	34.5	62.1	96.6%	3.4	0	97%	-0.4ポイント
36	キャリア教育と職業教育の充実について。	39.3	57.1	96.4%	3.6	0	97%	-0.6ポイント
37	個別の指導計画に基づく適切な授業実践について。	48.3	51.7	100%	0	0	97%	3ポイント
38	授業実践における三観点別評価の推進。	35.7	64.3	100%	0	0	91%	9.3ポイント
39	心身症、精神疾患の子供への教育支援について。	64.3	35.7	100%	0	0	94%	6.2ポイント
40	一時入院児童生徒への教育支援について。			0%	0	0	%	0ポイント
41	就学指導等に関する教育相談機能の充実について。	60.7	39.3	100%	0	0	97%	3.1ポイント